

9月25日正午必着

明石春浦先生書



山下夕陽芳草路、橋邊流水落花村（王越）

山の夕日は芳草茂るこみちに映え、橋のあたりから流れは花散る村に入っている。

雨宮春聲先生書



虎狼之勢

虎や狼のような勢いのこと。『淮南子』の「要略」に「孝公欲以虎狼之勢而吞諸侯」（孝公……を以てして諸侯を吞まんと欲す）とある。孝公は秦の二十五代の君、秦孝公。名は渠梁。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

清秋竹露深

(曹學佳)

清秋竹露深し

清らかな秋に、竹に宿る露は深い。

晨雨過青山一漠漠寒烟織
不見秣陵城坐愛秋江色

(王士禛)

晨雨青山を過ぎ、漠漠として寒烟織る。
見えず秣陵城、坐るに愛す秋江の色。

青山に明け方雨すぎて、つめたいもやがたちこめ、
目ざす秣陵の町もさだかに見えないが、この江辺
の秋色はこよなくよい。秣陵は今の南京。

岳陽晚景

(張均)

岳陽の晚景

張均

晚景寒鴉集

秋風旅雁歸

晚景

寒鴉集い 秋風 旅雁帰る

水光浮日去

霞彩映江飛

水光

日を浮べて去り 霞彩 江に映じて飛ぶ

洲白蘆花吐

園紅柿葉稀

洲は白くして蘆花吐き

園は紅にして柿葉稀なり

長沙卑暑地

九月未成レ衣

長沙は卑暑の地

九月 未だ衣を成さず

山裾の小松が下の赤土に乏しく立てる

女郎花のはな

(島木赤彦)



明石幸子書

半紙部規定課題A

9月25日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

9月25日正午必着

行書

直去泛滄溟

隸書

直去泛滄溟

明石春浦先生書

草書

直去泛滄溟

行草書

直去泛滄溟

露の白くおるころ、草はなおも青々と茂る。淮水を行く舟は岸によりそって碇泊する。風を帆にかけて、彼方、此方へ向かう旅人。空には天の川、地上には淮水、それぞれにきらめく星。樹木は静まって、鳥は草の中に眠り、岸の砂は冷たく、鹿が汀を駆け過ぎる。明日の朝、私と連れだって、まっすぐに大海に浮ぼうという人はないものだろうか。

秋夜宿淮口

景池

露白草猶青

淮舟倚岸停

風帆幾處客

天地兩河星

樹靜禽眠草

沙寒鹿過汀

明朝誰結伴

直去泛滄溟

秋夜 淮口に宿す 景池

露白くして 草は猶お青し

淮舟 岸に倚りて停まる

風帆 幾処の客

天地 両河の星

樹静かにして 禽は草に眠り

砂寒うして 鹿は汀を過ぐ

明朝 誰か伴を結び

直ちに去って 滄溟に泛ばん

條幅部半紙部臨書課題

曹國。因氏焉。秦漢之際。曹參夾輔王室。世宗廓土斥竟。子孫遷于雍州之郊。分

曹國。因氏焉。秦漢之際。曹參夾輔王室。世宗廓土斥竟。子孫遷于雍州之郊。分

9月25日正午必着

教育部毛筆



えん
園

げい
芸

中学一年

雨宮春聲先生書



せい
誠

じつ
実

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



け
今

さ
朝

小学五年

藤井良泰先生書



す
巣

ぼこ
箱

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

9月25日正午必着



すい
水

ぎゅう
牛

小学三年

細谷春誠先生書



しゃ
写

せい
生

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

た き 小学一年・幼年



藤田幸春先生書

はし る 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

登山客がおとずれる
週末にはたくさん

小学五年

西の山から赤とんぼの
大行進がやって来る

小学六年

も山かげに沈みゆく
照り輝いていた太陽

中学

月に秋の風情を感じる
雲間に見えるかくれする

一般(級位)

おもしろく遊ぶ子供
は夕かたまけて涼しく

おもてにて遊ぶ子供の聲きけば夕かたまけて涼しからし(古泉千樞)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

が	す
	ず
き	む
こ	し
え	の
ま	こ
す	え

幼年

は	あ
め	お
が	い
と	空
び	に
か	
う	つ

小学一年

と	あ
り	き
に	の
い	七
き	草
ま	を
す	

小学二年

ぐ	秋
も	の
が	空
見	に
え	い
ま	わ
す	し

小学三年

細	竹
い	や
け	ぶ
も	の
の	中
道	を
が	ぬ
あ	け
る	る

小学四年

※玄和八月号掲載の小学一年生課題「…かい草です」につきまして、
昆布や若布は分類としては海藻に属します。お詫びして訂正致します。

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

26日
 岩本景楓

岩本景楓

岩本景楓



夏の夜の月の光乃天なるや遊ぶしら雲
 楽しくは見ゆ
 (窪田空穂)

岩本景楓先生書

第69回昇段昇級試験実施要項

一般漢字部	受験資格	一般部師範及び準教授の方		各課題を1点ずつ計2点・作風自由		
	教授試験 課題	2尺×8尺	宿雨冒空山 寒城響秋葉 沈沈暮色至 凄凄凉氣入 蕭條林表散 的磔荷上集 夜霧著衣重 新苔侵履濕 遇茲端居日 頼與嘉賓接 (草應物)			
		半折	閑雲不作雨 横入峽山去 峽口弄舟人 家在雲歸處 (僧大香)			
	部別	第1部		第2部		
	受験資格	準師範と三段以上の方 師範まで昇格		段位の方 五段まで昇格		
	規定課題	半紙	課題を楷・行・草・隸にて 4点		課題の楷書1点と行・草・隸 の中から2点の計3点	
		半折	課題を1点(作風自由)		課題を1点(作風自由)	
	臨書課題	半紙			争坐位稿…顔真卿 琅華館信古儼帖…王鐸 } から1点	
		半折	争坐位稿…顔真卿 琅華館信古儼帖…王鐸 } から1点			
	課題	半折	居常土思兮心内傷 願爲黃鵠兮還故郷 (烏孫公主)			
	半紙	秋聲天地間				

昇試には応募券が必要です。バーコード出品券を使用し、備考欄の右にある「試」を○で囲んで、作品に貼付してください。

ペン字部	課題	「小倉山 峰のもみぢ葉 心あらば 今ひとたびの みゆき待たなむ」 ※玄和硬筆用紙使用のこと		
	部別	第1部		第3部
	受験資格	準師範と三段以上の方 師範まで昇格		級位の方(準初段は第2部) 初段まで昇格
規定課題	課題を楷書体・行書体・草書体・連綿体にて4点		課題を楷書体・行書体・草書体にて2点	

- ※教育部毛筆課題
中二・三「道法自然」
中一「文化国家」
小六「地理」
小五「育成」
小四「風土」
小三「木屋」
小二「会う」
小一「幼「かき」
- ※教育部硬筆課題(玄和硬筆用紙使用)
中学「規則正しい生活のリズ
ムは健康に最もよい」
小六「友情はいつも心の糸で
強く結ばれています」
小五「古代から伝わる文明は
今も生き続けている」
小四「思いやりの心を持つこ
とは大切です」
小三「今までのメモを読み返してみ
る」
小二「字の正しい書きかたつかいかた」
小一「月のせかいでうさぎがおどる」
幼年「どうぶつをかわいがります」
- 受験料(含消費税)
教授昇格試験 八〇〇〇円
一般漢字 第一部 六〇〇〇円
第二部 三三〇〇円
第三部 一八〇〇円
一般ペン字 第一部 四五〇〇円
第二部 二五〇〇円
第三部 一五〇〇円
硬筆部 毛筆 八〇〇円
硬筆部 八〇〇円

- 手本申込
昇試参考手本を希望される方は現金書留にて編集部までお申し込み下さい。(免除課題の有無に拘らず同様とさせていただきます。)
- 教授試験 一二〇〇円
一般漢字 第一部 九〇〇円
第二部 七〇〇円
第三部 二〇〇円
一般ペン字 第一部 二五〇〇円
第二部 二〇〇〇円
第三部 一〇〇〇円
教育部 毛筆 四〇〇円
硬筆部 四〇〇円
- 応募上の注意
●バーコード出品券は備考欄の「試」の字を○で囲み、さらに漢字部は「半紙A」、ペン字部は「ペン字」を○で囲んで、段級を記入して作品に貼付のこと。
●段級は十月号の段級位を記入のこと。
●一般漢字部の教授試験及び第1部・2部を受験される方は、半折作品の表下に氏名・段位を鉛筆でお書き下さい。
●一般部は個人別、部門、部別ごとに作品をひとまとめにし左上角をホッチキスでとめて出品すること。(出品券はいちばん上の作品に1枚だけ貼る)
●受験料は現金又は小為替にて作品と同時に送付のこと。
●封筒に昇試と朱書きし月例競書とは別送のこと。
●支部単位での出品は出品者名簿が必要で、9月中旬発送予定。
●締切日 十月一日(火) 必着
●発表 十二月号誌上予定
●認定証 昇格者全員に認定証をさしあげます。

国文
家化

中学一年

自道
然法

中学二三年

小倉山峰のもみぢ葉心あらば
今ひとたびのみゆき待たなむ

連綿体

小倉山峰のもみぢ葉心あらば
今ひとたびのみゆき待たなむ

草書体

小倉山峰のもみぢ葉心あらば
今ひとたびのみゆき待たなむ

行書体

小倉山峰のもみぢ葉心あらば
今ひとたびのみゆき待たなむ

楷書体

育成

小学五年

地理

小学六年

思いやりの心を持つ
ことは大切です

小学四年

古代から伝わる文明は
今も生き続けている

小学五年

友情はいつも心の糸で
強く結ばれています

小学六年

規則正しい生活のリズ
ムは健康に最もよい

中学

木星

小学三年

風土

小学四年

どわ
いぶ
がりつ
ます
か

幼年

月の
さが
がせ
おかい
どる
でう

小学一年

字の
たの
つか
しい
か書
きた

小学二年

今ま
での
メモ
を
読み
返し
てみ
る

小学三年

かき

幼年・小学一年

会う

小学二年